

新規事業で航空機関連会社がアウトドア業界へテイクオフ

事業再構築

売上拡大

企業名

大起産業株式会社

企業
プロフィール

【業種】 製造業
【代表者】 代表取締役社長 内藤 茂範
【創業年】 1961年（昭和36年）
【従業員数】 343名
【URL】 <https://www.e-dsk.co.jp/>



事業の現状と
相談のきっかけ

●コロナ渦で苦境の中、アウトドア関連の新規事業へ参入

- ・同社は、航空機関連会社で地域未来牽引企業。
- ・新型コロナウイルス禍による航空機需要の蒸発と国産初のジェット機スペースジェットの事業中断により、苦境に立たされる。
- ・未知の領域のキャンプ用品の取扱いをするにあたり当拠点へ相談することになった。

ヒアリングによる
課題の整理

●新規事業でのブランドの知名度を早急にアップさせる

- ・はじめての「B to C」事業への取り組み。
- ・後発で埋もれることにより、モチベーションが維持できなくなることが課題。

課題解決の
提案・アドバイス

●同社が新規分野に参入するには注目を集めることが大切

- ・「PICNICAR(ピクニカ)」の商標登録に関して、知財総合相談窓口と連携。
- ・販売のためのNetShopの運用・改善等をアドバイス。
- ・桑名商工会議所とも連携し会員事業所とのコラボを提案。
- ・広報のターゲットや目的を設定。

取組内容と成果

●NHK「おはよう日本」でも紹介され知名度がアップし売上増加

- ・NHKの記者へ情報を提供し、同社への取材をアレンジした。夕方のニュース番組の「まるっと三重」中部7県を対象にした「ウィークエンド中部」全国ネットの「おはよう日本」で紹介、放送された。直後から同社に問い合わせの電話が殺到し、売上が増加。
- ・この話題は東急ハンズにも届き、名古屋店でピクニカの取扱いが開始された。

事業者の声

自社ブランドの「PICNICAR」の知名度が一気に上がったのは、COの広報活動に対する工夫のお陰です。新規事業を担当するコンシューマ事業部が高いモチベーションで仕事に取り組めるように、COがどんな相談にも気軽に乗ってくれます。事業拡大につながる提案も積極的にあり、今後も期待ができます。



コーディネーター

よろず支援拠点 くわなサテライト 立道 和久

「夢」を乗せて大空を飛ぶ航空機を作るのが同社です。アウトドア用品のピクニカが「新しい夢」に成長するように、あらゆる面から支援を続けて行きたいと思っています。

よろず支援拠点 大野 真依

新規事業のため課題がたくさんある中、ひとつひとつ丁寧に取り組んでおられます。その向上心・実践力はとても尊敬しており、今後のさらなる発展に期待しています。

